

特定建設作業実施届出書

神戸市長宛

令和〇〇年〇〇月〇〇日

赤字：記載例

青地：注意点

押印は 不要 です。

届出者 住所（法人にあつては、主たる事業所の所在地）

神戸市〇〇区〇〇町〇—〇

氏名（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

〇〇〇〇建設株式会社 代表取締役 〇〇 〇〇

電話（〇〇〇）〇〇〇—〇〇〇〇

電子メール 〇〇〇@〇〇〇.jp

担当者氏名

〇〇 〇〇

特定建設作業を実施するので、

① 騒音規制法第 14 条第 1 項(第 2 項)

② 振動規制法第 14 条第 1 項(第 2 項)

③ 環境の保全と創造に関する条例第 59 条第 1 項(第 2 項)

の規定により、

次のとおり届け出ます。

建設工事の名称	〇〇邸解体工事				飛散性アスベストが有る時、特定粉じん排出等作業実施届出書又は特定工作物解体等工事实施届出書の提出が必要です。 また、石綿の有無にかかわらず一定規模以上の解体・改修工事は石綿の事前調査結果の報告が必要です。	
建設工事の目的に係る施設又は工作物の種類	建物解体工事（木造 2 階建）					
建物の解体・改修工事の有無 （該当するものに〇印を） ⇒ <u>解体有</u> 改修有・無 解体有・改修有の場合は右欄にも記入を。	解体・改修する部分の延べ床面積	〇〇〇m ²	石綿（アスベスト）	飛散性アスベストの使用 （吹付け、保温材、断熱材、耐火被覆材、塗材）	有・ <u>無</u>	
	解体・改修する建築物の建築年	M・T・S・H 〇〇年		非飛散性アスベストの使用 （スレート、石膏ボード、Pタイル、けい酸カルシウム板など）	有・ <u>無</u>	
	解体・改修する建築物の構造	木造				
特定建設作業の種類	別紙（裏面）のとおり					
特定建設作業に使用される機械の名称、型式及び仕様	別紙（裏面）のとおり					
特定建設作業の場所	神戸市 〇〇区 〇〇町 通 〇〇—〇〇—〇〇					
特定建設作業の実施の期間	自 令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日		← 届出日より 8 日以降 〇〇日間			
特定建設作業の開始及び終了の時刻	作業開始	作業終了	作業日	実働時間		
	自 8 時	至 17 時	日曜祝日を除く	8 時間		
騒音・振動の防止の方法	別紙（裏面）のとおり					
発注者の氏名又は名称及び住所等並びに法人にあつてはその代表者の氏名	〇〇市〇〇区〇〇町〇〇—〇〇—〇〇 〇〇〇不動産(株) 代表取締役 〇〇 〇〇 電話番号 〇〇〇—〇〇〇—〇〇〇〇 電子メール 〇〇〇@〇〇〇.jp					
届出者の現場責任者の氏名及び連絡先	〇〇〇〇建設(株) 〇〇事務所長 〇〇 〇〇 電話番号 〇〇〇—〇〇〇—〇〇〇〇 電子メール 〇〇〇@〇〇〇.jp					
下請負人が特定建設作業を実施する場合は、当該下請負人の氏名又は名称及び住所等並びに法人にあつてはその代表者の氏名	〇〇市〇〇区〇〇町〇〇—〇〇—〇〇 〇〇〇(株) 代表取締役 〇〇 〇〇 電話番号 〇〇〇—〇〇〇—〇〇〇〇 電子メール 〇〇〇@〇〇〇.jp					
下請負人が特定建設作業を実施する場合は、当該下請負人の現場責任者の氏名及び連絡先	〇〇 〇〇 電話番号 〇〇〇—〇〇〇—〇〇〇〇 電子メール 〇〇〇@〇〇〇.jp					
敷地等の面積 （敷地面積、解体整地面積、道路築造面積、造成面積、等）	<input type="checkbox"/> 敷地等の面積が 3,000m ² 以上 ※ 該当する場合はチェックを入れる。 ※ 3,000m ² 以上の土地の形質変更は土壌汚染対策法第 4 条届出が必要です。					

届出作業にかかる部分の面積が 3,000m² 以上の場合、チェックする。

特定建設作業の種類、使用される機械の名称等及び騒音・振動の防止方法

法令(*1)	特定建設作業の種類(*2)	機械の名称	型式	能力	数	使用時間
1・2・ 3	掘削機械を使用する作業	バックホウ	A社 A-〇〇	0.25m ³ 40.4kW	1	8時～17時
1 ・2・3	削岩機を使用する作業	ハンドブレイカー	B社 E-〇〇	25kg級	1	8時～17時
1 ・ 2 ・3	〃	大型ブレイカー	G社 H-〇〇	300kg級	1	13時～16時
1・2・3						時～時
1・2・3						時～時
1・2・3						時～時
1・2・3						時～時

騒音又は振動の防止の方法(*3)

(付近住民への工事説明の状況、低騒音・低振動型工法の採用や防音シートの設置の予定等について記載すること。)

(該当するものを○で囲んでください)

- 1** 付近住民への工事説明を着工前に十分行い、作業時間、作業期間について住民の要望を考慮する。
- 2** 建物解体時には建物周囲を防音シートで養生する。
- 3** 低騒音型機械を使用する。
- 4** 作業機械や運搬車両を空ぶかししない。
- 5** 解体時には、粉じん飛散防止のために散水を行う。
6. その他 ()

備考

- (*1)法令欄には、特定建設作業の種類ごとに、1 騒音規制法、2 振動規制法、3 環境の保全と創造に関する条例のうち該当するものの数字を○で囲むこと。
- (*2)特定建設作業の種類には、騒音規制法施行令別表第 2、振動規制法施行令別表第 2、環境の保全と創造に関する条例施行規則別表第 9・10 に掲げる作業の種類を記載すること。
- (*3)具体的内容については、必要に応じて図面等の資料を添付すること。
- (4)届出書は 2 部(正・控)提出すること。
- (5)届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむをえないものを除き、日本工業規格 A4 とすること。
- (6)氏名(法人にあってはその代表者の氏名)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあってはその代表者)が署名することができる。

添付書類

- ① 付近の見取り図**
現場周辺の住宅、病院等の立地状況がわかること。
- ② 工事工程表**
特定建設作業の種類ごとに実施期間を明示すること。
- ③ 現場図面**
敷地内構造物等と敷地境界の関係がわかること
防音シート・万能板・散水栓等の設置予定位置を明示すること。